



社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟 普及事業部

●首都圏在住の△5MPの方へ、ご確認ください！

首都圏で12月18日までの期間、ノービスゲームに参加された方、「ノービスに出て九州へ行こう！」へのご応募は1月5日締め切りです。未だ応募していない方が周囲にいらっしゃいませんか？1回応募されるだけで、あとは参加回数自動的に応募口数となります。△5のお知り合いに、応募の有無をご確認ください。

●全国の（首都圏を除く）△20MPの皆様へお知らせください！

「NECブリッジフェスティバル ビギナーズ杯」招待プレゼントへのご応募締め切りは12月20日です。ハガキかEメール、またはFAXで事務局に応募くださるだけでよいのです。全国のブリッジ・インストラクターの皆様、周囲の△20MPの方に、今一度教えてさしあげてください。「ビギナーズ杯」は日本一“参加者にやさしい”ゲームです。安心してご参加くださいともお伝えください。

●入会キャンペーン、1月1日スタート！ご協力よろしくお願いします。

毎年恒例の『入会キャンペーン』が1月にスタートします。ブリッジ・インストラクターの皆様から「こういったキャンペーンがあると生徒さんに入会を勧めやすい」との声も多く寄せられており、おかげさまで期間中入会者は年々増加しています。生徒さんたちにブリッジをもっともっと楽しんでいただくためにもこの機会を活用して入会をお勧めいただければ幸いです。ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

★期間：2011年1月1日～4月30日

★入会者／紹介者の特典

上記期間に新入会／再入会された方、および入会者をご紹介くださった方全員にQUOカード(500円)を1枚進呈します。

★QUOカードお渡し方法

- ・新入会者の方には、会員証とともにお送りします。
- ・紹介者の方には、キャンペーン終了後、ご紹介くださった人数分のQUOカード(上限20枚)をまとめてご送付します。

★紹介者の資格

JCBL会友・会員の方。紹介者なしでのご入会もちろんOKです。

★ご紹介方法

JCBL事務局、各ブリッジセンター、常設会場に置いてある「紹介者カード」をご利用ください。会員番号と氏名を明記の上、新入会／再入会される方に入会手続きの際に入会申込書と一緒に提出くださるようお願いしてお渡しください。

## ●NECブリッジフェスティバル恒例、普及事業部主催3つの初心者大会のご案内

日本ブリッジ界最大のイベント「NECブリッジフェスティバル」(2011年2月8日～13日)期間中の2月11日と12日、毎日3つの初心者大会を開催します。全参加者に素敵なプチプレゼントを用意しています。多くの初心者さんのご参加をお待ちしています。いずれの試合もコンベンションはリストAとさせていただきます。講師の皆さま、事前のご指導をよろしくお願いいたします。

初心者大会用、そして恒例の「体験教室用」のポスター・チラシを用意しています。生徒さんやお知り合いに配布して下さる方は事務局までご連絡ください。

1)「デビュタント杯」 ※1度もゲームに参加したことのない方が対象です。

ディレクターはじめ「日本一やさしいスタッフ」が超初心者さんのゲームデビューをやさしくフォローします。

初めて試合を経験する、ドキドキ・コワコワの人ばかりです。誰に遠慮もありません。「楽しかった！」と笑顔でお帰りいただける、そんな『デビュタント杯』なので、講師の皆さま、どうぞ安心して生徒さん達を送り出してください！

2)「ビギナーズ杯△5MP」

3)「ビギナーズ杯△20MP」

2種のビギナーズ杯を同時に開催します。それぞれ定員40名。今回は全国9地区から抽選で選ばれたペアも参加、にぎやかな大会になりそうです。

いずれの試合も、

[日時]2月11日(金・祝)、12日(土) 13:00開始 - 16:30終了(予定)

[会場] パシフィコ横浜 会議センター5F 503 横浜市西区みなとみらい1-1-1

[参加料(全試合共通)]

\*高校生以下500円/ユース会友700円/会友1,000円/一般1,500円

\*当日入会もできます。

「入会キャンペーン」期間中につき、入会者にはその場でQUOカード(500円)を進呈。

★ペアでも、お一人でもエントリーできます。

★事前申し込み制です。各ゲームとも定員40名。

★2月4日(金)までにJCBL事務局へ「〇〇日の■■杯」とお申し込み下さい。

## ●NECブリッジフェスティバル「体験教室」のご案内

[日時] 2月11日(金・祝)、12日(土) 11:00～16:00(受付終了タイム)

[会場] パシフィコ横浜 会議センター5F 503 横浜市西区みなとみらい1-1-1

小さいお子様から、年配の方まで、ブリッジの楽しさをミニブリッジで体験していただきます。囲碁やチェス、シャンチー、チェッカーといった他のマインドスポーツを体験しながら完成するシールラリーや福引などのお楽しみ企画満載。スタッフ一同、おそろいのTシャツと笑顔でお迎えます！

ぜひ、老若男女を問わず、大勢の皆様にご案内ください！

※地域のお祭りやイベントへの出展など、大規模な体験教室をどのように運営するかに関心のある方、どうぞ見学にいらしてください。(事前に事務局までご連絡ください)

## ●NECブリッジフェスティバルの案内チラシ&ポスターの用意ができました！

「初心者大会」用、そして「体験教室」集客用のPRチラシ・ポスターを用意しています。生徒さんやお知り合いに配布して下さる方は事務局までご連絡ください。ご協力、宜しくお願いします。

## ●ご自宅で眠っているブリッジ書籍をご寄贈ください！

ご自宅にキレイなまま眠っているブリッジの本がありませんか？

NECブリッジフェスティバル期間中、会場で「ブリッジ古書リサイクル市」を開催します。

覚えてたの時に読んだ本、レベルアップのために読んだ本など、お世話になったけどもう不用！という書籍がありましたら、事務局に寄贈していただけますか？何語でもかまいません。

或る人にはもう用済みとなったブリッジ関係の本も、「ぜひ読みたい」本、「役に立つ」本として必要とする人も多いはずとの観点から考えた企画です。処分するのも勿体ないし、かと言って誰かにあげるという作業もなかなか…と言う方、ぜひ、有効活用と思ってご寄贈ください。

「古書リサイクル市」でほしい本が見つかった方には無料でお持ちいただくのですが、傍に設置してある「寄付箱」にくぼくかの寸志(1冊 100 円位?)を入れていただくことをお願いします。こうして集まった寄付金は、JCBLから同額を加えて開発途上国の子供たちの教育支援を実施しているNGO団体「ルーム・トゥ・リード」

(<http://roomtoreadjapan.org/>)の「現地語児童書寄贈プログラム」に寄付します。

このように不用になったブリッジ書籍が、先ず他のプレイヤーの役に立つことでブリッジ界が活性化し、さらにめぐりめぐって途上国の子供たちの本となって喜ばれる…そんな「ブリッジ古書リサイクル市」をめざしています。

※古書寄贈方法: 首都圏のいくつかのブリッジセンターに寄贈箱が設置される予定ですので、その中に入れてください。設置予定のセンターは、四谷(JCBL)、五反田、高田馬場、横浜、大船、京葉、福岡です。

お近くに寄贈箱の設置センターがない方は、大変恐縮ですがJCBL事務局まで送料自己負担にてお送りください。なお事務局には整理の関係上、1月20日必着でお願いします。

※JCBL普及事業部は、昨年夏にも「ルーム・トゥ・リード」へのチャリティイベント「Beers for Books」を大阪で開催しています。ビールを1杯飲むごとに子どもたちに本1冊が寄贈される、というイベントでした。普及通信 2009年8月号と9月号に掲載してありますのでご覧ください。

## ●不要になった未開封カード有効活用へのご協力をお願いします

古書同様、不用&未開封のカードがありましたら、事務局までご寄贈ください。古書と一緒にかまいません。新品カードを必要とする、地方やユースのクラブ、学校のクラブ活動、その他普及活動において有効に活用させていただきたいと考えています。

## ●ソウルへ…、ハノイへ…。 海外親善ブリッジ旅行のご報告が届きました

この秋、期せずして2つの海外親善ブリッジ旅行の報告が届きました。長崎チェス&ブリッジクラブ主催の総勢10名の「長崎ーソウル親善ブリッジ交流(10/23~10/25)」、そして仙台BCの方が発起人となり広島BC有志に愛媛、関東のプレイヤーさんが加わった11名による「ハノイージャパン フレンドシップ大会(11/16~20)」。

どちらも、地元のクラブで地元のプレイヤーさんとペアを組んでの親善ゲームや懇親会、お土産の交換でおおいに盛り上がったとのことですが、どちらのご報告にも共通していたのが、技術的レベルの違い(どちらのグループにも新人さんが参加していました)や言葉の壁などまったく関係ない「ブリッジを通しての新しい出会いの喜び、そして、心と心の触れ合い」でした。もちろん、観光も楽しんで帰られたとのこと。世界中の人と人をつなぐブリッジ、本当に最高の国際交流ツールですね。

## ●今年の「任天堂杯」、豪華賞品が任天堂から寄贈されました！

1951年、京都大学コントラクトブリッジクラブのメンバーが任天堂株式会社を直接訪問して名義使用許可をいただいたことから京都市内でスタートした「任天堂杯」、1977年に「全日本オープンペア選手権」としてナショナル競技会になり、優勝トロフィー等賞品が提供されていました。その後、1993年、大阪ブリッジセンターの拡張とともにOBCに会場を移しての開催となりましたが、双方の担当者の交代・異動等に伴い、「任天堂杯」は名義を貸していただけの競技会となっていました。ところが今年12月の「任天堂杯」は、任天堂本社に改めてご挨拶に伺ってご支援をお願いしたところ、同社のご厚意により、すばらしい賞品が寄贈されました！どのような賞品かといいますと、

優勝ペア：

持ち回りの素晴らしいトロフィー

Wii+Wii Party 2組 ← TVCM放映中のあのWiiです！

準優勝ペア：

ニンテンドーDSi LL 2組

3位ペア：

DS用ソフト ポケットモンスター ブラック/ホワイト 2組



この他にも、飛び賞、ブービー賞も同社のマリオランプがそれぞれ贈られ、会場に飾られた賞品を前に、参加プレイヤーたちは例年よりアツい戦いを繰り広げていたようです。栄えあるトロフィー&Wiiの受賞者からは、「副賞のWiiを持ち帰ったら子どもたちはびっくり。少しだけ父親の威厳を取り戻せました」との後日談をいただきました。ブリッジでWiiがもらえるとは…！来年は、お子さん、お孫さんのクリスマスプレゼントを、と「任天堂杯」挑戦ペアが増えることでしょう。

## ●世界ユースチーム選手権 10/10~10/13@フィラデルフィア

日本代表ユースチームはジュニアの部(U26)に参加しました。本戦は最初のイタリア戦とフランス戦の2ラウンドを負けましたが、2日の朝のオランダ戦を大勝したこともあり、2日目終了時点で7位タイとまずまずの結果でした。しかし、3日目、USA2戦、スウェーデン戦のどちらかを引き分け程度で終えれば予選通過もある、というところにつけたのですが、両戦とも大敗、残念ながら12VP足りず、予選通過を果たすことはできず、最終的には17チーム中、13位でした。(228VP、Av. 240)

[日本代表チーム] NPC: 寺本直志

選手: 横井大樹、三浦裕明、中山尚純、後藤田俊輔、伊井康朗、貴戸祥郎

## ●ユース日本代表候補者登録、過去最多の33名！

毎年秋、翌年度のユース代表候補を登録制で募集し、強化練習と2回の選考試合を経てU26とU21の代表を選出するのですが、このほど締め切った2011年度の代表候補登録には33名（U26:19名、U21:14名）の申込みがありました。過去最多だった昨年の29名を4名上回る登録数です。ブリッジ講座を実施している東京大学からは8名、早稲田大学からは6名の応募がありました。その他、東北大学7名、慶應義塾大学4名、大阪大学と学習院大学から各3名、千葉大学、横浜国立大学から1名となっています。

早稲田大学の6名には、実は早稲田高校の3年生が1名含まれています。以前ご案内したように、同大学のブリッジ講座は、提携している大学や高校からの受講も可能なことから高校生が参加しており、今回の代表応募につながりました。女子の登録者も久しぶりに1名いました。

ユースブリッジ界の最近の動きとしては、現在、慶應義塾大学と早稲田大学ブリッジ部がそれぞれJCB�公認クラブ申請を行っており、17日開催の理事会で承認の運びとなります。また、2011年度から、福岡大学でもブリッジ講座が始まります。若い人の間でブリッジが広まっていく、そんな夢が少しずつ実現していているようです。

皆様、ブリッジ界の将来を担う、これら若者たちをどうぞあたたかく見守ってあげてください。

## ●「国民文化祭おかやま 2010」出展報告

会期:2010年11月6日(土)・7日(日) 2日間

会場:岡山市、岡山県総合グラウンド「桃太郎アリーナ」

今年の国民文化祭の舞台は岡山県です。2005年の国体開催時に建てられた明るく広々とした体育館「桃太郎アリーナ」で行われた「生活文化・暮らしと味わい総合フェスティバル」にミニブリッジ体験コーナーを出展しました。

秋晴れのお天気にも恵まれ、会場内でも目に留まりやすい場所にブースを設置できたこともあり、JCB�ブースは2日間ともお昼過ぎからは10テーブルが常に満席状態、

参加者は延べ350名以上、と大盛況となりました。地元岡山の同好会「楽友会」メンバーの皆さまと岡山在住の会員有志の方々、そして応援に駆けつけた広島BC、香川BCメンバーの皆さまが手分けして参加者への対応に当たってくださいました。小学生のお子さんを連れた家族グループから賑やかな学生さん4人組、60代～70代のご夫婦ペアまで参加者の年代は幅広く、笑顔でわいわいと盛り上がるグループ、じっくり考えながら慎重にカードを出す方、皆さまそれぞれのペースで体験を楽しまれました。

その賑やかな雰囲気がさらに参加者を呼び込み、用意した「楽友会」のご案内チラシがあつという間になくなり急いで増刷する場面もあるなど、岡山県にしっかり「ブリッジ」の名前が浸透していく手応えを感じた2日間となりました。岡山・広島・香川BCメンバーの皆さまも交流を深めたご様子で、今後の中国・四国地域のブリッジ隆盛に大きな期待がふくらみます。お手伝いくださった皆さま、どうもありがとうございました！



## ●ブリッジって知っていますか？ …と、インターネットでブリッジの認知度調査をしました

11月16日から18日にかけて、日本全国でどれくらいの、どのような人がブリッジを知っているかを把握し、より有効な広報・普及活動につなげることを目的に、インターネットを使ってのブリッジ認知度調査を行いました。2万人に聞いたところ、当初の予想(?)を大きく上回り、20%を越える人々が「遊んだことがある(10.3%)」、「名前を知っているが遊んだことはない(10.5%)」と、ブリッジを知っていることが判明！関係者一同嬉しい驚きでした。

## ●「日経おとなのOFF」1月号にも広告掲載します！

雑誌へのイメージ広告掲載の先駆けとなった「日経おとなのOFF」ですが、8月号、9月号、10月号、11月号に続き、2011年1月号にも掲載します。同じ雑誌に繰り返し載せることで、読者の皆さんに知らず知らず「ブリッジ」の存在がインプットされることを狙っています。

## ●「SKYMARK」11月号/12月号/1月号でブリッジ紹介！

前号でご案内したスカイマーク航空の機内誌「SKYMARK」で3ヶ月続けてブリッジを紹介しています。

11月号の広告タイトルは「旅の空き時間が最高の時間になった。－ Travel×Cards 旅とトランプ 前編」、12月号は、「人と人とをつなぐ 知的ゲーム コントラクトブリッジ Travel×Cards 旅とトランプ 後編」。後編ではプロプレイヤー3名と、フレッシュヤーズ代表として1名の初心者プレイヤーさんに登場いただいています。機内に1ヶ月間置かれる機内誌、上述の認知度調査でも「SKYMARKでブリッジを知った」という回答があるなど、効果が即あらわれています。年末年始、スカイマークに搭乗の機会のある方、ぜひお手にとってご覧ください。(大きく開いて周りにみえるように！)

## ●掲載誌の特集一覧

ブリッジ広告掲載誌は、それぞれけっこう面白い特集が組まれています。「読み終わったら終わり」が大半の新聞広告とは異なり、雑誌の場合は、じっくりキープして何度もページを開く読者が多いので、その分、広告も繰り返し人の目に触れ、記憶に残っていくことが期待されています。

特に、おもしろい特集の場合は半永久的に保管してもらえる可能性も…？

ちなみに、最近のブリッジ広告掲載誌の特集をご紹介します。(1ページものイメージ広告)

- ★はれ予報 12月号 ビートルズ特集「すべてビートルズから始まった」
- ★はれ予報 11月号 宇宙特集「ようこそ宇宙へ」
- ★はれ予報 10月号「秋は仏像」
- ★日経おとなのOFF 12月号「死とは何か 臨終の作法とは？」
- ★日経おとなのOFF 10月号「京都&奈良 開運スポット案内」
- ★日経おとなのOFF 9月号「釈迦(おしゃかさま)入門」
- ★日経おとなのOFF 8月号「おとなの政治入門－今さら聞けない基本のき」
- ★和楽 11月号「大人の本格 着物始め」と正倉院特集

## ●キムタク、ついにはビートルズと…

ブリッジイメージ広告掲載中の「はれ予報 12月号」の表紙はなんとあの「ビートルズ」！表紙をめくると、裏側には「Q」が「K」を誘っているワインカラーのブリッジイメージ広告です。ついにはビートルズとブリッジが共演！？と、人知れず感慨に浸りました。実はブリッジはキムタクとの共演も果たしております。同じく「はれ予報」の9月号と11月号の背表紙がキムタク(木村拓哉)のセコムの広告だった、というだけの話なのですが、それでもブリッジ広告がキムタクと同じ舞台にあがった、そんな一種誇らしい感じでした。

## ●「ブリッジ」の名前が登場している最近の雑誌

JCBLが主体的にPRしている雑誌以外でも、最近「ブリッジ」の名前が登場しています。

### ★「クロワッサン プレミアム」12月号

四谷BCで2年前から講習を受けている生徒さん(女性)が1ページ写真付きで大きく採り上げられていました。

ご趣味の社交ダンスがメインなのですが、その他の趣味として「コントラクトブリッジ」の名前が挙がっていました！

### ★「文芸春秋」1月号

JCBL理事が「同級生交歓」欄に登場。ちゃんとコントラクトブリッジの説明付きです。